

# 2018年9月期 第3四半期決算説明



## 【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

株式会社ユーグレナ

2018年8月

# 2018年9月期 第3四半期決算概要

# 2018年9月期第3四半期業績および通期業績予想

## 2Q比で増収を達成しつつ、赤字幅を縮小

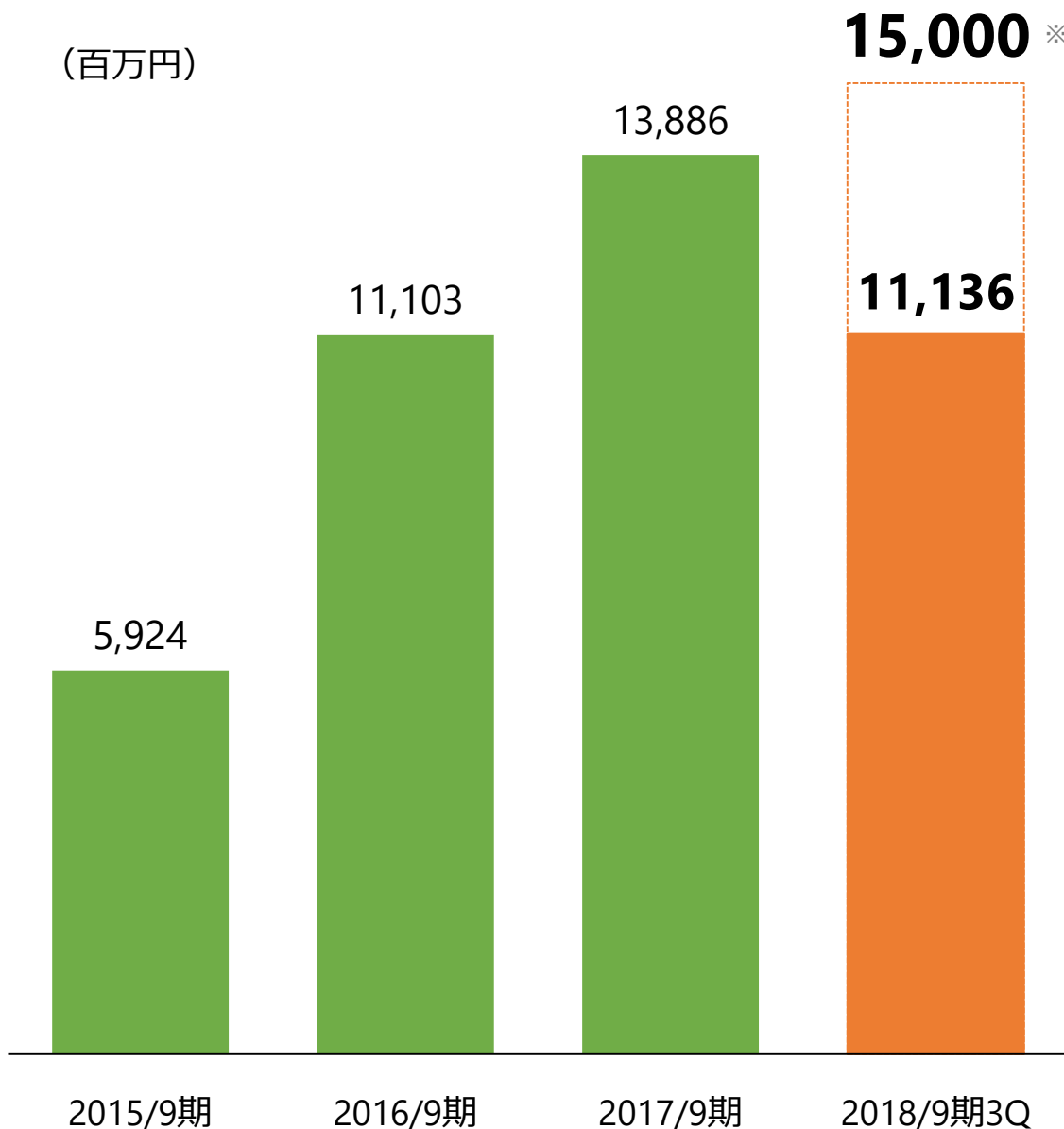
(単位：百万円)	2018年9月期 2Q実績	2018年9月期 3Q実績	2018年9月期 3Q累計	2018年9月期 通期業績予想※
売上高	3,729	3,957	11,136	15,000
営業利益	△ 681	△ 404	△ 1,516	△ 1,800
EBITDA※	△ 515	△ 182	△ 985	-
経常利益	△ 532	△ 363	△ 1,260	△ 1,500
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 530	△ 372	△ 1,365	△ 1,650

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

※2018年9月期通期業績予想修正値  
(2018年5月11日発表)

# 経営指標—売上高推移

(百万円)



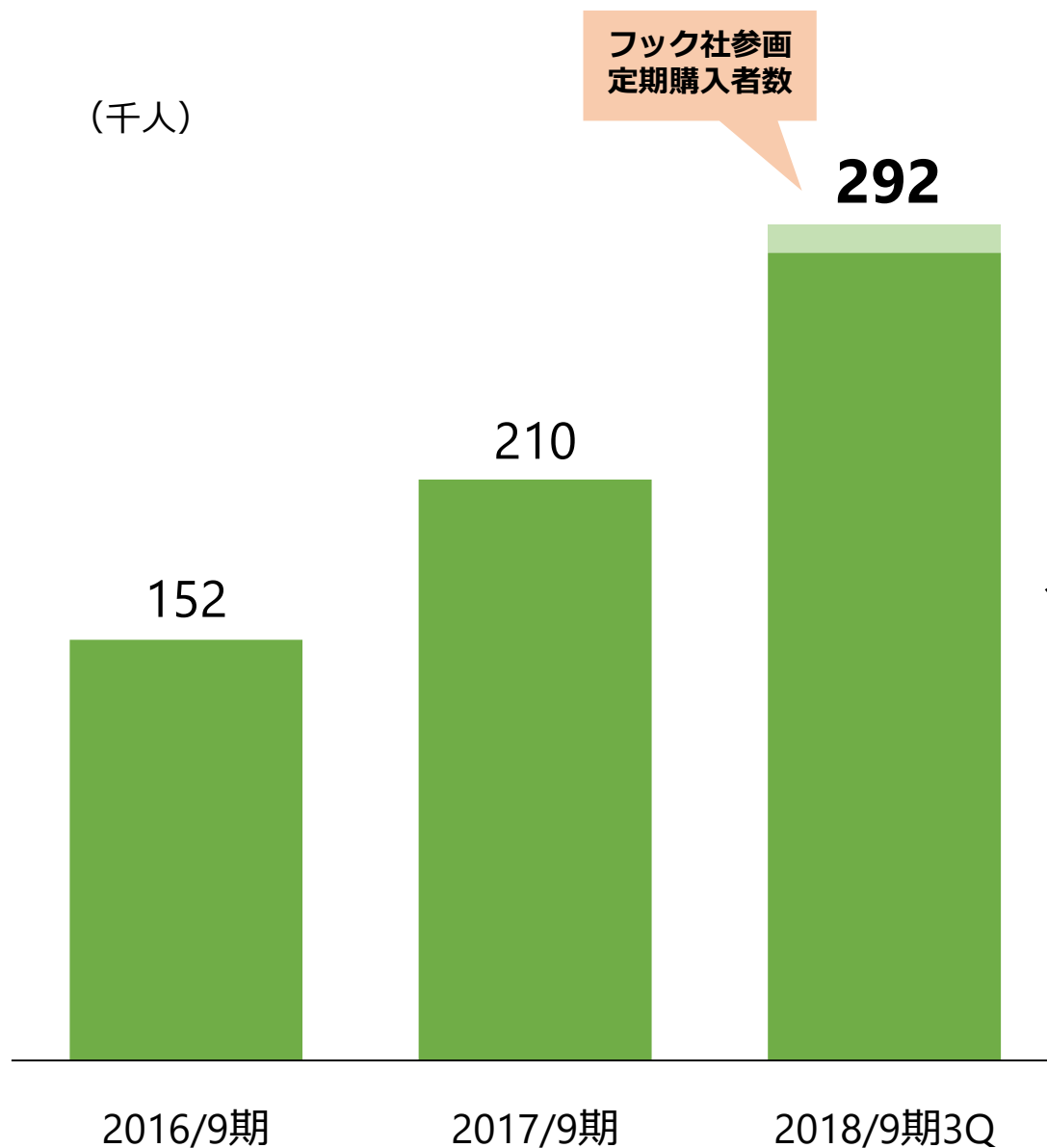
進捗率  
**74%**

修正予算の  
達成を目指す



ユーグレナの緑汁 (ユーグレナ社)

# 経営指標—直販定期購入者数推移



定期購入者数  
**29万人**

グループ会社も  
定期購入者数増を牽引

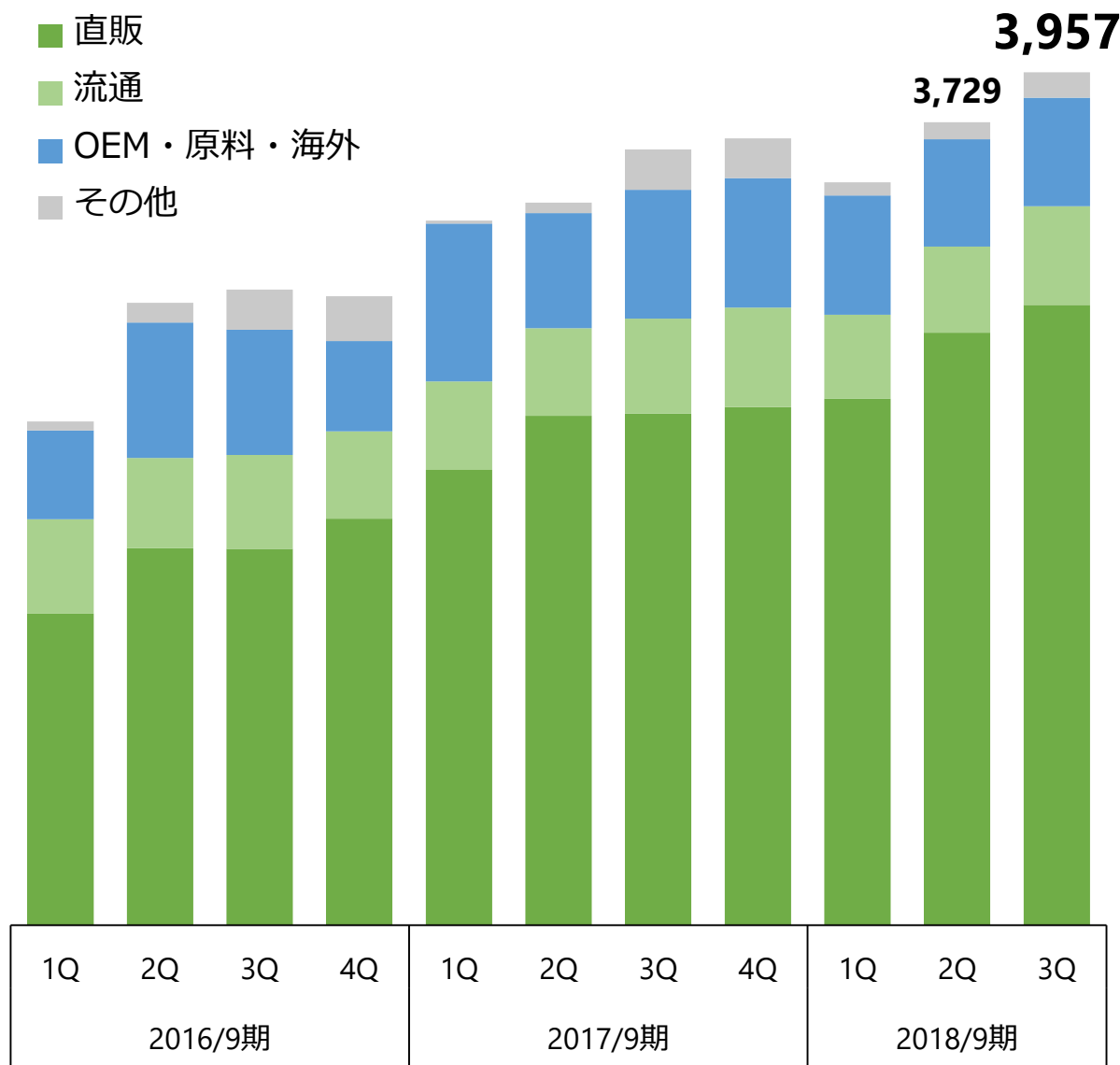


エポホワイティア (エポラ社)

# 経営指標—ヘルスケア事業四半期売上高構造推移

(百万円)

- 直販
- 流通
- OEM・原料・海外
- その他



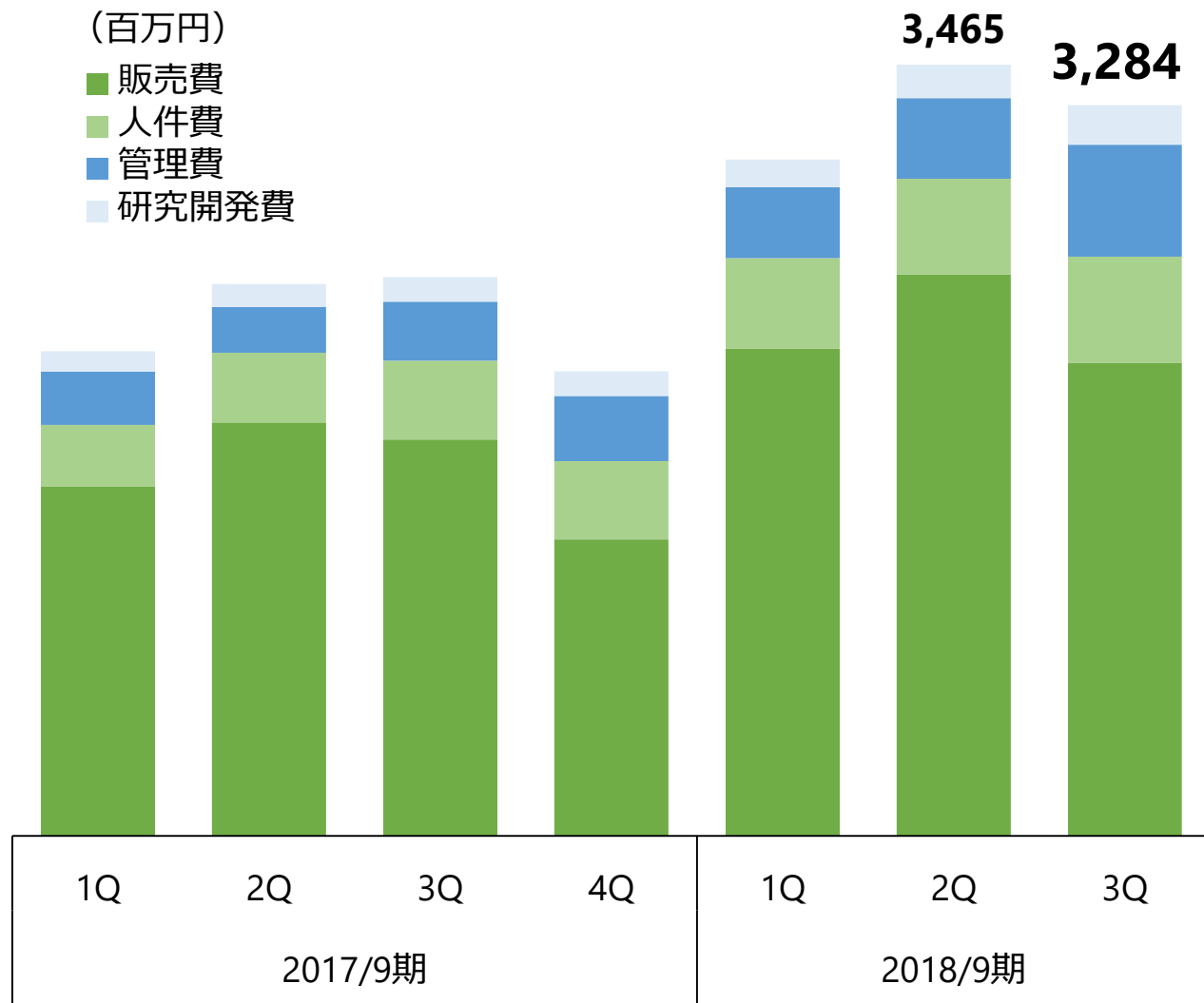
売上高2Q比  
+6%



美的ヌーボプレミアム (フック社)

# 経営指標—販管費内訳推移

## 広告宣伝費の縮小により3Q販管費は2Q比で減少、フック社連結による増加影響をカバー



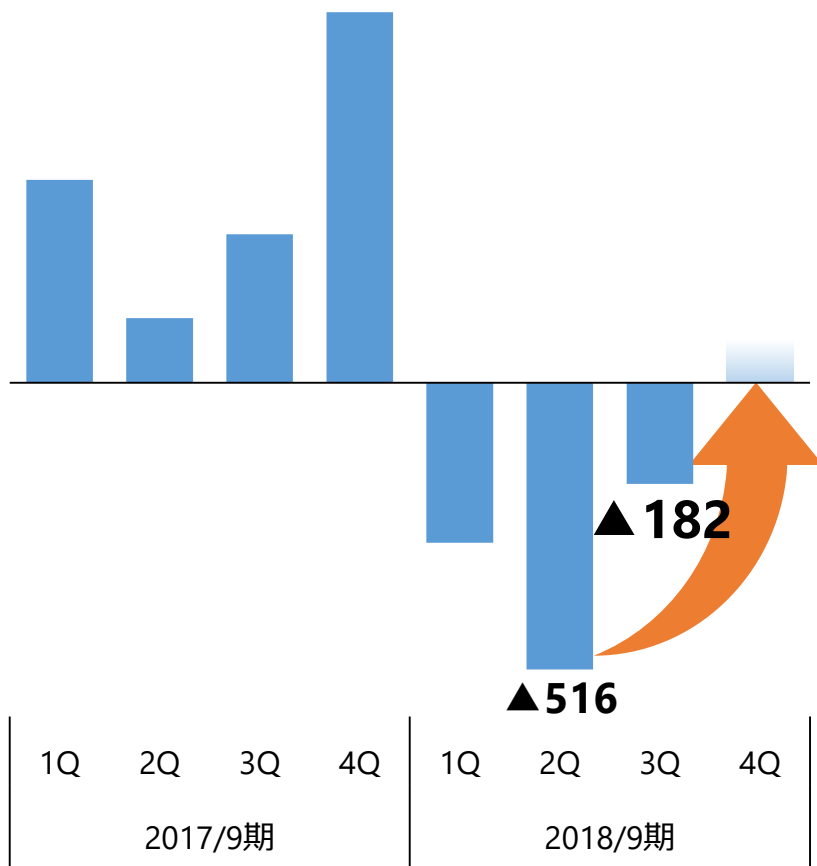
ユーグレナの緑汁粒タイプ (ユーグレナ社)

# 経営指標—EBITDAとセグメント別損益

## 3QでEBITDAとヘルスケアセグメント損益は共に改善 4Qでプラス転換を目指す

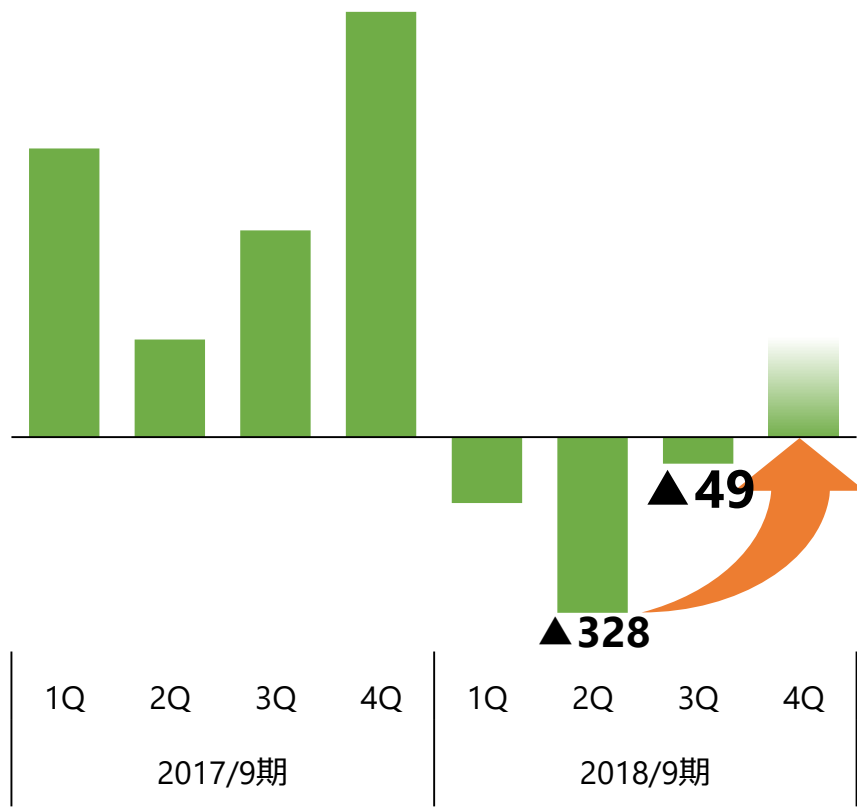
### EBITDA

(百万円)



### ヘルスケアセグメント損益

(百万円)





# 財務サマリー（四半期別 連結損益計算書）

(百万円)	2016/9期					2017/9期					2018/9期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	合計
<b>売上高</b>	<b>2,340</b>	<b>2,890</b>	<b>2,952</b>	<b>2,921</b>	<b>11,103</b>	<b>3,273</b>	<b>3,355</b>	<b>3,603</b>	<b>3,655</b>	<b>13,887</b>	<b>3,450</b>	<b>3,729</b>	<b>3,957</b>	<b>11,136</b>
直販	1,447	1,751	1,748	1,889	6,836	2,115	2,366	2,375	2,406	9,262	2,445	2,752	2,881	8,078
流通	439	419	436	405	1,699	411	406	441	463	1,722	390	400	458	1,248
OEM・原料・海外	412	629	581	419	2,041	733	535	599	601	2,467	553	499	510	1,562
その他	42	91	186	208	528	14	48	188	185	435	61	79	109	249
売上原価	653	743	794	776	2,966	816	876	948	1,037	3,678	841	946	1,078	2,865
<b>売上総利益</b>	<b>1,687</b>	<b>2,147</b>	<b>2,158</b>	<b>2,145</b>	<b>8,137</b>	<b>2,457</b>	<b>2,479</b>	<b>2,655</b>	<b>2,618</b>	<b>10,209</b>	<b>2,609</b>	<b>2,784</b>	<b>2,879</b>	<b>8,271</b>
粗利率	72%	74%	73%	73%	73%	75%	74%	74%	72%	74%	76%	75%	73%	74%
販売管理費	1,656	1,724	1,807	2,257	7,443	2,178	2,480	2,512	2,088	9,258	3,039	3,465	3,284	9,787
販売費(*)	1,179	1,262	1,268	1,681	5,390	1,568	1,855	1,779	1,330	6,532	2,188	2,519	2,122	6,829
(内 広告宣伝費)	722	719	707	1,071	3,219	981	1,056	989	634	3,661	1,394	1,516	1,079	3,990
人件費	196	210	241	243	889	276	313	354	351	1,294	405	429	477	1,311
管理費(*)	209	172	205	224	809	239	206	264	292	1,001	318	362	502	1,182
研究開発費	71	80	93	109	354	95	107	114	115	431	129	154	183	466
<b>営業利益</b>	<b>31</b>	<b>423</b>	<b>352</b>	<b>-112</b>	<b>693</b>	<b>278</b>	<b>-1</b>	<b>143</b>	<b>530</b>	<b>951</b>	<b>-430</b>	<b>-681</b>	<b>-405</b>	<b>-1,516</b>
<b>EBITDA</b>	<b>100</b>	<b>495</b>	<b>431</b>	<b>-12</b>	<b>1,014</b>	<b>364</b>	<b>116</b>	<b>267</b>	<b>666</b>	<b>1,413</b>	<b>-288</b>	<b>-516</b>	<b>-182</b>	<b>-986</b>
営業外損益	44	45	125	37	251	24	145	25	62	256	66	148	42	256
(内 助成金収入)	14	25	94	21	155	2	118	7	40	167	42	124	27	194
<b>経常利益</b>	<b>75</b>	<b>468</b>	<b>476</b>	<b>-75</b>	<b>944</b>	<b>302</b>	<b>144</b>	<b>169</b>	<b>592</b>	<b>1,207</b>	<b>-364</b>	<b>-533</b>	<b>-363</b>	<b>-1,260</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>111</b>	<b>318</b>	<b>323</b>	<b>-78</b>	<b>673</b>	<b>209</b>	<b>92</b>	<b>123</b>	<b>361</b>	<b>786</b>	<b>-462</b>	<b>-531</b>	<b>-373</b>	<b>-1,366</b>

## ◆参考指標

減価償却費	40.1	57.1	57.0	78.1	232.3	64.9	89.7	93.3	101.2	349.1	91.3	108.7	125.1	325.2
(内 M&A関連)		21.4	10.7	10.7	42.8	10.7	10.7	10.7	10.7	42.8	10.7	13.4	18.7	42.8
のれん償却額	29.0	14.9	21.9	21.9	87.8	21.0	27.4	30.0	34.6	113.0	50.9	56.8	97.6	205.3

注：

上記テーブルの数値は百万円未満を四捨五入しており、開示数値および本決算説明資料のチャート記載値（百万円未満を切捨て）と一致しない場合があります。  
2016/9期より販売費・管理費の区分に関して、2017/9期より売上高の内訳分類に関して見直しを行ったため、部分的に過去の公表データと異なっている箇所があります。2016/9期4Qののれん償却額には、同期に計上したのれん減損損失25.2百万円は含まれておりません。

# 財務サマリー (連結貸借対照表)

(百万円)	2016/9期	2017/9期	2018/9期 3Q
<b>流動資産</b>	<b>11,354</b>	<b>10,640</b>	<b>8,237</b>
現金及び預金	6,799	7,152	3,792
有価証券	2,404	200	0
その他	2,150	3,287	4,445
<b>固定資産</b>	<b>4,171</b>	<b>8,217</b>	<b>12,799</b>
有形固定資産	2,472	6,025	8,215
(内 建設仮勘定)	896	3,671	5,617
無形資産	1,237	1,626	3,859
投資その他の資産	461	565	724
(内 投資有価証券)	289	180	385
<b>総資産</b>	<b>15,526</b>	<b>18,858</b>	<b>21,036</b>
<b>負債</b>	<b>2,103</b>	<b>3,202</b>	<b>5,243</b>
流動負債	1,611	1,704	2,100
(内 短期借入金)	12	164	363
固定負債	491	1,498	3,143
(内 長期借入金)	59	1,123	2,679
<b>純資産</b>	<b>13,422</b>	<b>15,655</b>	<b>15,793</b>
株主資本	13,407	15,638	15,784
(内 利益剰余金)	2,090	2,876	1,511
その他	14	17	9
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,526</b>	<b>18,858</b>	<b>21,036</b>

# エネルギー・環境事業の進捗

# 国産バイオ燃料計画—自動車用燃料の地産地消モデルの構築

## 2018年6月、ひろ自連<sup>※</sup>とバイオ燃料の普及拡大に向けた「ひろしま“Your Green Fuel”プロジェクト」を始動



記者会見時の様子（2018年6月）

名称	ひろしま自動車産学官連携推進会議
常任団体	公益財団法人ひろしま産業振興機構、マツダ株式会社、国立大学法人広島大学、経済産業省中国経済産業局、広島県、広島市
役割	実証事業全体のコーディネート、バイオ燃料原料としての地域資源の活用促進、地域での再生可能エネルギー関連事業の振興など

※設立時期：2015年6月11日

※目的：広島地域の自動車産業を活性化するための旗印として掲げた「2030年産学官連携ビジョン」の着実な実現

名称	ユーグレナ社
役割	バイオ燃料の製造および本実証事業への供給、微細藻類由来の燃料を中心としたバイオ燃料に関する知見の提供など



家庭・学校

事業者

使用済てんぷら油回収

バイオ燃料精製



バイオ燃料製造実証プラント（2018年10月31日竣工予定）

供給



乗用車利用  
（公道走行）

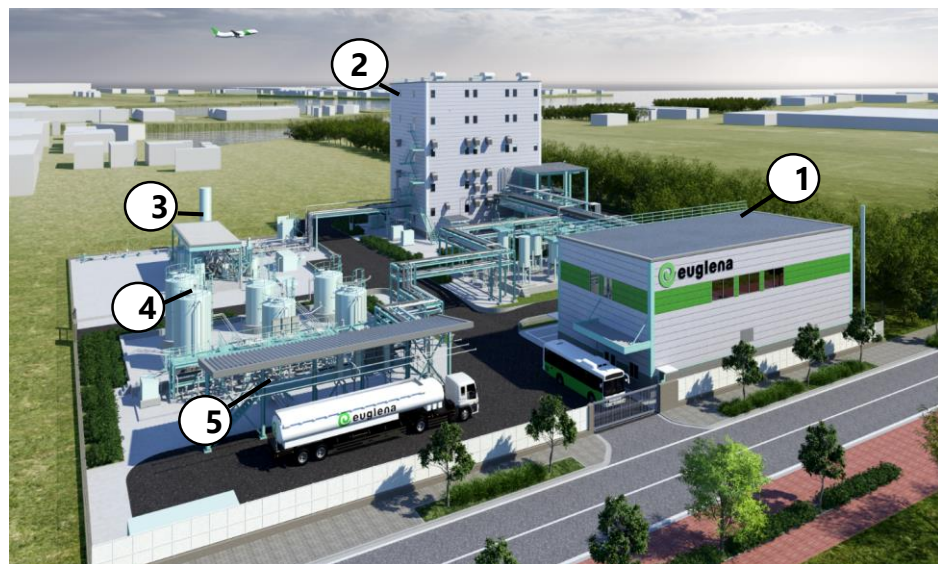
※肥料・飼料研究や藻類培養など、2020年以降に検討

2020年目途に開始

# 国産バイオ燃料計画—実証プラントの完成イメージ図

## 投資総額約58億円の実証プラント、引渡時に一括費用計上予定

2019年前半のバイオジェット・ディーゼル燃料の生産開始に向けて前進



①事務棟 ②反応装置棟 ③用役設備 ④貯蔵タンク ⑤出荷場

敷地	旭硝子（株）京浜工場内（神奈川県横浜市鶴見区）
敷地面積	7,787.6m <sup>2</sup>
製造能力	日産5バレル
製造量	年産125KL
生産品目	バイオケロシン（ジェット燃料）、バイオディーゼル、バイオナフサ
採用技術	Biofuels ISOCONVERSION Process（Chevron Lummus Global / ARA社よりライセンス供与）
投資総額	約58億円※
スケジュール	2017年6月1日 着工、2018年10月31日 竣工、2019年前半 稼働

※2017年2月に締結した工事等請負契約における契約金額のほか、実証プラントに関連する基本設計費用、土地整備用等の諸費用（一部は既に支払い済み）を含む金額です。  
なお、本実証プラントはバイオジェット燃料及びバイオディーゼル燃料の実用化に向けた実証研究を目的に建設されるため、本実証プラントに係る投資額は、物件引渡日をもって研究開発費として一括費用計上する予定です。

# 国産バイオ燃料計画—実証プラントの建設進捗

2017

2018

2019

2020

設計

実証プラント建設

実証プラント稼働

2017年2月10日  
千代田化工建設と  
工事等請負契約を締結

2017年6月1日  
実証プラント建設着工

2018年10月31日  
実証プラント建設竣工予定

2020年迄に  
有償フライトを実現



2017年11月時点



2017年12月時点



2018年4月時点



2018年7月時点

# ヘルスケア事業の進捗

## 新素材『みどり麴』

- 麴づくりの際に、米と麴菌にユーグレナを加えることで、**麴の力をより引き出す効果**があることを確認（特許第 6251436 号）
- ユーグレナを活用して生産し、麴の力がアップした独自の麴を『みどり麴』と命名



## サプリメント 「ユーグレナのみどり麴」

- 『みどり麴』を使った商品第一弾
- 生きた**麴**と麴が生成する**酵素**をそのまま摂取することが可能
- **健康的なスタイル**を保ちたい方、**消化・吸収・代謝サイクル**が気になる方など向け
- 4,536円（税込） / 4,200円（税抜）
- 90粒（30日分）





# ヘルスケア事業—チャネル別新商品

## 商品ラインアップの拡充でさらなる顧客獲得を目指す

### 直販

#### 健康食品

メディカプラス  
プロポリス&ローヤルゼリー

2018/  
4/9  
発売



メディカプラス  
オメガ3

2018/  
5/14  
発売



メディカプラス  
発酵黒にんにく&もろみ酢

2018/  
5/14  
発売



eu  
RICH DRINK

2018/4/9  
発売

eu  
WHITE SAPLI

2018/4/9  
発売



ユーグレナのみどり麹

2018/  
7/13  
発売



#### 化粧品



one  
クリーミー  
ウォッシュ

2018/  
4/9  
発売

one オールインワン  
パワーリフティングクリーム

2018/  
6/18  
発売



# ヘルスケア事業—チャネル別新商品

## 健康への多様な関心に合わせたヘルスケア関連商品を展開

### 流通

#### 3 in 1 ドリンク

新ブランド『おいしいユーグレナ』

2018/9/17  
発売予定



おいしいユーグレナ  
野菜と乳酸菌



おいしいユーグレナ  
ベリーと鉄分



おいしいユーグレナ  
トマトとコラーゲン

### ユーグレナ・マイヘルス



ユーグレナ・マイヘルス  
アルコール体質  
遺伝子チェック

2018/5/8 発売



ユーグレナ・マイヘルス  
酸化度チェック※

2018/6/18 発売

※疲労や老化を促進するとされる体の酸化ストレスの度合いを計測

# ヘルスケア事業—研究開発進捗（1）

1  
新たな食品原料として  
**食品用ユーグレナエキス※**を  
規格化

※熱水にてユーグレナ粉末からユーグレナの成分を抽出した、熱水抽出エキス

- ◆ 規格化した食品用ユーグレナエキスは低分子化された水溶性画分の物質を多く含むため、**飲料や食品に加工、添加がしやすくなり**、より幅広い用途で活用が可能

2  
ユーグレナ粉末の摂取により  
**筋萎縮症状の抑制**を示唆する  
研究結果を確認

- ◆ ユーグレナ粉末の摂取が筋タンパク質の合成を促進し、老化などにもなう筋萎縮症状の抑制を示唆する研究結果を確認
- ◆ ユーグレナの**医療分野等での利活用**や**食材としての付加価値向上**を目指す

3  
ユーグレナ粉末とクロレラ粉末  
を比内地鶏へ与えることで  
**脂の色味や肉質のうま味**が  
**向上**する可能性を確認

- ◆ ユーグレナ粉末とクロレラ粉末入り飼料により、比内地鶏の脂の色味の変化およびうま味成分アラキドン酸の含有率向上を確認
- ◆ **飼料としての価値向上**を目指す

## ヘルスケア事業—研究開発進捗（2）

4

筑波大学との共同研究  
『セルフメディケーション推進  
特別研究事業』を開始

- ◆ タンパク質の修復や酸化度の指標となる**硫黄化合物**の解析に関する研究を行い、疾患の新しい指標や診断方法の構築を目指す
- ◆ **サルファーインデックスサービスの拡大**やセルフメディケーション領域での**実用化**に活用

5

ユーグレナを用いた製麴<sup>(せいまく)</sup>で  
**麴<sup>(こうじ)</sup>が生成する酵素量が**  
向上する研究結果を確認

- ◆ ユーグレナ粉末を添加した蒸米で麴をつくることで、グルコアミラーゼなど麴が生成する**酵素の量が向上**することを確認
- ◆ 『みどり麴』と命名、新素材として商品展開
- ◆ 製造に関する成果と技術については2017年12月1日に**特許権を取得**（特許第 6251436 号）

6

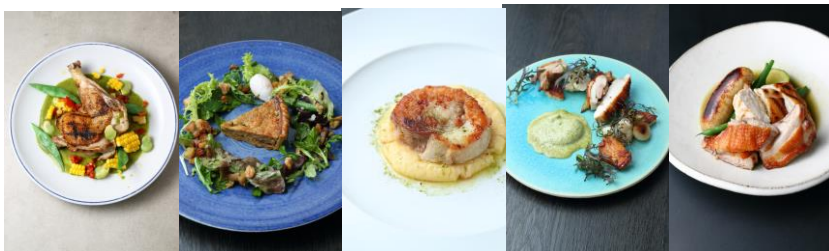
『みどり麴』において、  
**抗酸化作用を持つ硫黄化合物の**  
**含有量向上効果**を確認

- ◆ **抗酸化作用**を持つグルタチオンやエルゴチオネインなど**硫黄化合物の含有量が向上**する研究結果を確認
- ◆ 硫黄化合物の解析には、当社**サルファーインデックス技術**※を使用

※ 硫黄化合物をラベル化する誘導化試薬を用いることで、微量な硫黄化合物を高感度かつ網羅的に検出する技術

## 『み鶏』 特別メニューの提供

- ユーグレナ入り飼料で育った世界初の比内地鶏を『み鶏 (ミドリ) 』と命名
- 『み鶏』を使った特別メニューを (株)バルニバービ運営の飲食店都内5店舗にて期間限定で提供



## ネット通販で中国へ商品輸出

- 中国の越境ECサイト「[Kaola.com](http://Kaola.com)」内において、主力商品である「ユーグレナの緑汁」など食品4点を販売開始
- 中国におけるさらなるユーグレナブランドの認知度向上および売上拡大を目指す



※Kaola.com

バイオテクノロジーで  
昨日の不可能を今日可能にする。

